

令和4年度（2022年度）学校評価報告書

令和5年（2023年）3月27日

北海道教育委員会教育長 様

北海道函館西高等学校長 高 橋 敏 史

次のとおり令和4年度（2022年度）の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

（1）主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、「確かな学力」を育成する。
（2）持続可能な未来社会の創り手の育成に向け、探究的な学習、キャリア教育を推進する。
（3）体験的学習や生徒会活動、部活動、ボランティア活動等を通して広く社会を知り、人間性や社会性、自己有用感を育む。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	- 授業を大切にし、生徒個々の知識及び技能の習得をめざし、主体的・対話的で深い学びの視点からの指導方法の工夫・改善を進めた。 - 学習評価の充実に努めるとともに、教務部と探究部が連携し、探究的な学習を進めている。	- 評価が生徒のモチベーションにつながるものになってほしい。 - 探究的な学習について、ガイダンスが重要であるため、生徒にとって探究的な学習のイメージをつかむことができる内容にしてほしい。
改善方策	教務部及び探究部を中心に引き続き校内研修を実施し、より組織的に授業改善、学習評価の充実に取り組み、学力の向上を図る。次年度の校内研修は、評価方法についてより深める。	
生徒指導	- 基本的生活習慣の確立と自己指導能力の育成に取り組んだが、一貫性のある組織的な取組に課題が見られた。 - コロナ禍で多くの制約がある中、学校祭や体育祭を開催する等、生徒の主体性の育成を図り、人間関係の構築に努めた。	- 校外で見かける生徒の印象はよい。 - コロナ禍ではあるが、学校行事等について生徒なりに工夫している様子が見えた。
改善方策	より組織的に一貫性をもって、挨拶や身だしなみ等、基本的生活習慣の確立を図る。また、教育相談体制をより充実し、生徒・保護者との信頼関係構築に努め、いじめを絶対に許さない一人一人が安心できる教育活動の一層の推進を図るとともに、SNS等の情報モラル指導の徹底を図る。なお、学校行事の計画・立案については、より計画的・組織的に進める。	
進路指導	- 主体的な進路選択に向けて、年次団と進路指導部が連携し情報共有に努め、生徒個々の目標実現に努めた。 - 探究的な学習との連携については、より一層の取組が必要である。	- 探究活動の成果が進路結果に反映されている。 - コロナ終息後の体験活動に期待する。
改善方策	探究活動と連携した進路指導実践に努める。	
公表方法	○教育活動の状況をW e b等を利用して情報発信する。 ○自己評価の結果を学校評議員に報告し、学校関係者評価を実施し、W e bを活用して公表する。	

3 添付資料

- 1) 令和4年度(2022年度)北海道函館西高等学校 学校評価保護者アンケート集計結果
2) 令和4年度(2022年度)北海道函館西高等学校 学校評価（自己評価・学校関係者評価）